

[平成19年度設置]

計画の区分：大学院研究科の設置

注1

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

注2

設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岐阜大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 岐阜大学本部企画部企画課

職名・氏名 キカクブキカクカチョウ マツバラ ヒデキ
企画部企画課長・松原 秀樹

職名・氏名 コウガクフジムチョウ ツチヤ マサト
工学部事務長・土屋 雅人

電話番号 058-293-3287（企画課長）

（夜間） 058-293-3287（企画課長）

FAX 058-293-3294（企画課）

e-mail gjpl01001@jim.gifu-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は認可申請時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

目 次

1 調査対象大学等の概要等	1
(1) 設置者	
(2) 大学名	
(3) 大学の位置	
(4) 管理運営組織	
(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等	2
(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員	
(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況	
<大学院連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (博士課程)>	
<大学院連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻 (博士課程)>	
(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況	3
<大学院連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (博士課程)>	
<大学院連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻 (博士課程)>	
(5) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況	4
<大学院連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (博士課程)>	
<大学院連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻 (博士課程)>	
2 授業科目の概要	5
<大学院連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (博士課程)>	
(1) 授業科目表	
(2) 授業科目数	8
(3) 未開講科目	9
(4) 廃止科目	
(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	
(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	
<大学院連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻 (博士課程)>	10
(1) 授業科目表	
(2) 授業科目数	14
(3) 未開講科目	15
(4) 廃止科目	
(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	
(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	
3 施設・設備の整備状況、経費	16
<岐阜大学キャンパス>	
<岐阜薬科大学キャンパス>	17
4 既設大学等の状況	18
5 教員組織の状況	20
<大学院連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (博士課程)>	
(1) 担当教員表	
(2) 専任教員数	23
(3) 専任教員交代の理由	
(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生の周知方法」	24
<大学院連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻 (博士課程)>	25
(1) 担当教員表	
(2) 専任教員数	28
(3) 専任教員交代の理由	
(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生の周知方法」	29
6 留意事項に対する履行状況等	30
7 その他全般的事項	31
<大学院連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (博士課程)>	
(1) 設置計画変更事項等	
(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	
(3) 自己点検・評価等に関する事項	32
(4) 情報提供に関する事項	33
<大学院連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻 (博士課程)>	34
(1) 設置計画変更事項等	
(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	
(3) 自己点検・評価等に関する事項	35
(4) 情報提供に関する事項	36

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

※

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岐阜大学

(2) 大学名

岐阜大学大学院

(3) 大学の位置

〒501-1193
岐阜県岐阜市柳戸1番1

(4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(クロキ トシオ) 黒 木 登志夫 (平成13年6月)	(モリ ヒデキ) 森 秀 樹 (平成20年4月)	任期満了に伴う変更(20)
研究科長	(キタテ ユキオ) 北 出 幸 夫 (平成19年4月)		

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成21年度に報告する場合 → (21)

※ 「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は、平成18年度開設の場合（平成21年度までの4年間）ですが、開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は、備考欄に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) -① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称（学位）	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
岐阜大学大学院連合創薬医療情報 創薬科学専攻（博士課程） 博士（工学）、博士（薬科学）	3	3	9	基礎となる学部名等
医療情報学専攻（博士課程） 博士（医科学）、博士（薬科学）	3	3	9	

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

<連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻（博士課程）>

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備考
A	入学定員	(-) 3	(-) 3	(-) 3	1.33	平成21年4月 第3年次
	志願者数	(3) 3	(3) 7	(1) 3		
	受験者数	(3) 3	(3) 7	(1) 3		
	合格者数	(3) 3	(3) 6	(1) 3		
B	入学者数	(3) 3	(3) 6	(1) 3		
	入学定員超過率 B/A	(-) 1.00	(-) 2.00	(-) 1.00		

<連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻（博士課程）>

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備考
A	入学定員	(-) 3	(-) 3	(-) 3	1.66	平成21年4月 第3年次
	志願者数	(7) 9	(1) 3	(2) 3		
	受験者数	(7) 9	(1) 3	(2) 3		
	合格者数	(7) 9	(1) 3	(2) 3		
B	入学者数	(7) 9	(1) 3	(2) 3		
	入学定員超過率 B/A	(-) 3.00	(-) 1.00	(-) 1.00		

(注) 1 () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

<連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻(博士課程)>

学 年 \ 対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[0] 3	[0] 6	[2] 3	平成21年4月 第3年次
2年次	[/]	[0] 3	[0] 6	
3年次	[/]	[/]	[0] 3	
計	[0] 3	[0] 9	[2] 12	

<連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻(博士課程)>

学 年 \ 対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[1] 9	[0] 3	[0] 3	平成21年4月 第3年次
2年次	[/]	[1] 9	[0] 3	
3年次	[/]	[/]	[1] 8	
計	[1] 9	[1] 12	[1] 14	

(注) 1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻(博士課程)>

区 分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 0[0]	計 3[0]	[0 %] 0 %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 3人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 0[0]	計 9[0]	[0 %] 0 %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 3人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 6人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 0[0]	計 12[0]	[0 %] 0 %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 3人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 6人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 3人	
	(主な退学理由)		

<連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻(博士課程)>

区 分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [0]	計 9[0]	[0 %] 0 %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 9人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 0[0]	計 12[1]	[0 %] 0 %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 9人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 3人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 1[0]	計 15[1]	[0 %] 6.7 %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 9人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 3人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 3人	
	(主な退学理由) ・ 家庭の事情1人		

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

2 授業科目の概要

< 連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻（博士課程） >

（1）授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
【基礎必修科目】										
創薬医療情報トピックス	1 前	1			3 2	0 1				平成19年4月1日付けで准教授が教授に昇格（岐阜薬科大学）（19） 担当 田中 稔幸 平成18年10月 教員審査済 判定 可 「専任教員採用等設置計画変更書」平成19年8月 提出予定（19） 履修希望者がいるため（20） 履修希望者がいなかったため（19）
臨床データマイニング概論	1 前	1								
臨床データマイニング演習	1 前	1								
社会・生命倫理学概論	1 前	1								
	1・2 通年 未開講									
学外実習	1・2 通年 未開講	1			1					
基礎必修科目 小計（ 5科目）										
	—	5	0	0	4 3	0 1	0	0	0	
【基礎選択科目】										
	未開講 1 前 未開講 1 前									

	未開講									
	1前									
医薬経済学	未開講									履修希望者がいなかったため(21)
	1前									履修希望者がいるため(20)
	未開講									履修希望者がいなかったため(19)
	1前		1							
	未開講									履修希望者がいなかったため(21)
分子病態医学概論	1前									履修希望者がいるため(20)
	未開講									履修希望者がいなかったため(19)
	1前		1							
医用工学概論	未開講					1				履修希望者がいなかったため(20)
応用糖鎖工学	1前		1							
蛋白質機能開発工学	1前		1							
	1前									
	未開講									履修希望者がいるため(20)
臨床試験概論	1前		1							履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
	1前									履修希望者がいなかったため(21)
	未開講									履修希望者がいるため(20)
研究と知的財産	1前		1							履修希望者がいなかったため(19)
	1前									
	未開講									履修希望者がいるため(21)
生命科学と動物愛護	1前		1							履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
人獣感染症学	1前		1							履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
生活習慣病と予防医学	1前		1							履修希望者がいなかったため(21)
基礎選択科目										
小計(18科目)	—	0	18	0	1	0	0	0	0	
【専門選択必修科目】										
	未開講									
遺伝子有機化学概論	1前		2			1				履修希望者がいなかったため(21)
	未開講									
分子変換化学概論	1前		2			1				履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
分子機能創薬学概論	1前		2							履修希望者がいなかったため(19)
	1前									
	未開講									履修希望者がいるため(20)
細胞情報伝達学概論	1前		2			1				履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
	1前									履修希望者がいなかったため(21)
	未開講									履修希望者がいるため(20)
細胞システム論	1前		2			1				履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
生体分子制御工学特論	1後		2		1					履修希望者がいなかったため(19)
	1後									
	未開講									履修希望者がいるため(21)
分子イメージング工学特論	1後		2		1					履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
	1前									履修希望者がいなかったため(21)
	未開講									履修希望者がいるため(20)
創薬画像診断学特論	1前		2							履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
分子医療創薬学特論	1	2	2							履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
神経機能分子工学特論	1前		2		1					履修希望者がいなかったため(20)
	未開講									
医用分子システム工学特論	1後		2		1					履修希望者がいなかったため(20)

生体精密分離分析化学 ゲノム創薬化学特論	1前 未開講 1前 1前 1後 未開講 1後		2			1				履修希望者がいるため(20) 履修希望者がいなかったため(19)
創薬資源化学特論	1後 未開講 1後		2			1	0	1		履修希望者がいるため(21) 履修希望者がいなかったため(19) 平成19年4月1日付けで准教授が教授に 昇格(岐阜薬科大学)(19) 担当 田中 稔幸 平成18年10月 教員審査済 判定 可 「専任教員採用等設置計画変更 書」平成19年8月 提出予定
分子機能解析学特論	1後 未開講 1後		2			1				履修希望者がいるため(20) 履修希望者がいなかったため(19)
分子腫瘍学特論	1後		2			1				平成21年4月1日専任教員の採用(21) 担当 赤尾 幸博 平成21年1月 教員審査済 判定 ㊦ (21)
専門選択必修科目 小計(16科目)			32		7	5				
小計(15科目)	—	2	30	0	6	6	0	0	0	
専門選択科目										
医用画像解析学概論	未開講 1前 1前		2							履修希望者がいなかったため(19)
感染症治療学概論	未開講 1前 1前		2							履修希望者がいるため(21) 履修希望者がいなかったため(19)
高次生命情報学特論	未開講 1前 1前		2							履修希望者がいなかったため(19)
生体環境医療学特論	未開講 1前 1前		2							履修希望者がいなかったため(19)
理論機能分子設計学特論	1後 未開講 1後		2							履修希望者がいなかったため(19)
ゲノム創薬医療学特論	未開講 1後 1後		2							履修希望者がいなかったため(20)
感染症制御学特論	未開講 1後 1後		2							履修希望者がいなかったため(20)
代謝病態制御学特論	未開講 1後 1後		2							履修希望者がいなかったため(19)
生体ラジカル制御学特論	未開講 1前 1前		2							履修希望者がいなかったため(19)
免疫薬理学	未開講 1前 1前		2							履修希望者がいなかったため(19)
生態毒性学特論	未開講 1前 1前		2							履修希望者がいなかったため(19)
生体応答調節学特論	未開講 1後 1後		2							履修希望者がいなかったため(19)
専門選択科目 小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	
【専門必修科目】										
創薬科学特別研究	1～3通年	2			7	5				平成19年4月1日付けで准教授が教授に 昇格(岐阜薬科大学)(19) 担当 田中 稔幸 平成18年10月 教員審査済 判定 ㊦

										「専任教員採用等設置計画変更 書」平成19年8月 提出予定
										平成21年4月1日専任教員の採用(21) 担当 赤尾 幸博 平成21年1月 教員審査済 判定 ㊤ (21)
専門必修科目					7					
小計 (1科目)	—	2	0	0	6 5	5	0	0	0	
合計 (52科目)			74		6 5	5				
合計 (51科目)	—	9	72	0	5 6	6	0	0	0	

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	44		51	7	45		52	
				[]	[+1]	[]	[+1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	基礎技術1 (細胞培養技術)	1	1	一般	選択	履修希望者がいなかったため
2	基礎技術2 (免疫組織化学)	1	1	一般	選択	"
3	プロセスマネジメント概論	1	1	一般	選択	"
4	細胞シグナル制御学概論	1	1	一般	選択	"
5	ファーマコゲノミクス	1	1	一般	選択	"
6	医薬経済学	1	1	一般	選択	"
7	分子病態医学概論	1	1	一般	選択	"
8	医用工学概論	1	1	一般	選択	"
9	研究と知的財産	1	1	一般	選択	"
10	人獣感染症学	1	1	一般	選択	"
11	生活習慣病と予防医学	1	1	一般	選択	"
12	遺伝子有機化学概論	2	1	専門	選択	"
13	分子変換化学概論	2	1	専門	選択	"
14	分子機能創薬学概論	2	1	専門	選択	"
15	細胞システム論	2	1	専門	選択	"
16	生体分子制御工学特論	2	1	専門	選択	"
17	創薬画像診断学特論	2	1	専門	選択	"
18	分子医療創薬学特論	2	1	専門	選択	"
19	神経機能分子工学特論	2	1	専門	選択	"
20	医用分子システム工学特論	2	1	専門	選択	"
21	医用画像解析学概論	2	1	専門	選択	"
22	高次生命情報学特論	2	1	専門	選択	"
23	生体環境医療学特論	2	1	専門	選択	"
24	ゲノム創薬医療学特論	2	1	専門	選択	"
25	感染症制御学特論	2	1	専門	選択	"
26	代謝病態制御学特論	2	1	専門	選択	"
27	免疫薬理学	2	1	専門	選択	"
28	生体応答調節学特論	2	1	専門	選択	"

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本研究科は、様々な学修歴を持つ入学者に対応するため、少ない収容定員に対して多くの授業科目を用意しており、履修希望者がいないことによる未開講科目が多く出ることとなった。なお、このことによる学生の履修への影響はない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	28	=	0.54
認可時の計画の授業科目数の計	51		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
- なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月、提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻（博士課程）>

（１）授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
【基礎必修科目】										
創薬医療情報トピックス	1前	1			4					
臨床データマイニング概論	1前	1			1					
臨床データマイニング演習	1前	1			1					
社会・生命倫理学概論	1前	1								
学外実習	1・2連年	1								
基礎必修科目										
小計（ 5科目）	—	5	0	0	4	0	0	0	0	
【基礎選択科目】										
基礎技術 1（細胞培養技術）	未開講 1前		1							履修希望者がいなかったため(20)
基礎技術 2（免疫組織化学）	1前 1前		1							
プロセスマネジメント概論	未開講 1前		1		2					履修希望者がいるため(21) 履修希望者がいなかったため(20)
細胞シグナル制御学概論	未開講 1前		1							履修希望者がいなかったため(21)
新薬論	未開講 1前 1前		1							履修希望者がいなかったため(19)
微生物ゲノム学概論	未開講 1前		1							履修希望者がいるため(21) 履修希望者がいなかったため(20)
ファーマコゲノミクス	未開講 1前		1							履修希望者がいなかったため(20)
薬物送達制御学	未開講 1前		1							履修希望者がいなかったため(19)
医薬経済学	未開講 1前		1							履修希望者がいなかったため(20)
分子病態医学概論	未開講 1前		1		1					履修希望者がいなかったため(21) 履修希望者がいるため(20) 履修希望者がいなかったため(19)
医用工学概論	未開講 1前		1							履修希望者がいなかったため(19)
医療統計学概論	1前 1前 未開講		1		1					
臨床試験概論	1前		1							履修希望者がいるため(20) 履修希望者がいなかったため(19)

	未開講 — 1 前										履修希望者がいなかったため(21)
	未開講 — 1 前										履修希望者がいるため(20)
研究と知的財産	未開講 — 1 前	1									履修希望者がいなかったため(19)
	未開講 — 1 前					0					
生命科学と動物愛護	未開講 — 1 前	1				-1					履修希望者がいなかったため(20) 平成19年7月末 三鴨廣繁准教授辞職による担当者の変更(19)
											{ 担当 二上 英樹(准教授) 兼担 (19)
	1 前 未開講										履修希望者があるため(20)
人獣感染症学	未開講 — 1 前	1			1						履修希望者がいなかったため(19)
	1 前 未開講										履修希望者があるため(21)
生活習慣病と予防医学	未開講 — 1 前	1			1						履修希望者がいなかったため(20)
	1 前 未開講										履修希望者があるため(21)
医療情報解析学概論	未開講 — 1 前	1				1					履修希望者がいなかったため(20) 平成20年3月末 松島秀准教授辞職による専任教員の変更(20)
											{ 担当 内山 良一(准教授) 「専任教員採用等設置計画変更書」 平成20年4月 提出予定(20)
基礎選択科目	—	0	18	0	5	1	0	0	0		
小計(18科目)	—	0	18	0	5	-2	0	0	0		
【専門選択必修科目】	未開講 — 1 前										履修希望者がいなかったため(20) 平成20年3月末 松島秀准教授辞職による専任教員の変更(20)
医用画像解析学概論	未開講 — 1 前	2				1					{ 担当 内山 良一(准教授) 「専任教員採用等設置計画変更書」 平成20年4月 提出予定(20)
	未開講 — 1 前										履修希望者がいなかったため(20) 平成19年7月末 三鴨廣繁准教授辞職による専任教員の変更(19)
感染症治療学概論	未開講 — 1 前	2				1					{ 担当 田中 香お里(准教授) 平成19年8月 教員審査済 判定 可
	1 前 未開講										履修希望者があるため(21)
高次生命情報学特論	未開講 — 1 前	2			1						履修希望者がいなかったため(20)

	未開講									
	1 前	2								履修希望者がいなかったため(21)
	未開講									履修希望者がいるため(20)
生体環境医療学特論	1 前		2		1					履修希望者がいなかったため(19)
理論機能分子設計学特論	1 後		2		1					
	未開講									
ゲノム創薬医療学特論	1 後		2		1					履修希望者がいなかったため(20)
	未開講									
感染症制御学特論	1 後		2		1					履修希望者がいなかったため(20)
	未開講									
	1 後									履修希望者がいなかったため(21)
	未開講									履修希望者がいるため(20)
代謝病態制御学特論	1 後		2		1					履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
	1 後									履修希望者がいなかったため(21)
	未開講									履修希望者がいるため(20)
生体ラジカル制御学特論	1 後		2		1					履修希望者がいなかったため(19)
	1 後									
	未開講									履修希望者がいるため(20)
免疫薬理学	1 前		2			1				履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
生体毒性学特論	1 前		2		1					履修希望者がいなかったため(19)
生体応答調節学特論	1 後		2		1					
専門選択必修科目										
小計(12科目)	—	2	24	0	8	3	0	0	0	
【専門選択科目】										
	未開講									
	1 前									履修希望者がいなかったため(21)
	未開講									履修希望者がいるため(20)
遺伝子有機化学概論	1 前		2							履修希望者がいなかったため(19)
	1 前									
	未開講									履修希望者がいるため(21)
分子変換化学概論	1 前		2							履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
分子機能創薬学概論	1 前		2							履修希望者がいなかったため(19)
	1 前									
	未開講									履修希望者がいるため(20)
細胞情報伝達学概論	1 前		2							履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
細胞システム論	1 前		2							履修希望者がいなかったため(19)
	未開講									
生体分子制御工学特論	1 後		2							履修希望者がいなかったため(20)
	1 後									
	未開講									履修希望者がいるため(20)
分子イメージング工学特論	1 後		2							履修希望者がいなかったため(19)

創薬画像診断学特論	1 前 未開講									履修希望者がいるため(20)
	1 前 未開講	2								履修希望者がいなかったため(19)
分子医療創薬学特論	1 前 未開講									履修希望者がいなかったため(21)
	1 前 未開講	2								履修希望者がいるため(20)
神経機能分子工学特論	1 後 未開講	2								履修希望者がいなかったため(20)
医用分子システム工学特論	1 後 未開講	2								履修希望者がいなかったため(19)
生体精密分離分析化学	1 前 未開講	2								履修希望者がいなかったため(19)
ゲノム創薬化学特論	1 前 未開講	2								履修希望者がいなかったため(21)
創薬資源化学特論	1 後 未開講	2								履修希望者がいなかったため(19)
分子機能解析学特論	1 後	2								履修希望者がいなかったため(19)
分子腫瘍学特論	1 後	2								平成21年4月1日専任教員の採用(21)
										担当 赤尾 幸博 平成21年1月 教員審査済 判定 ㊤ (21)
専門選択科目										
小計(16科目)			32							
小計(15科目)	—	0	30	0	0	0	0	0	0	
【専門必修科目】										
医療情報学特別研究	1～3通年	2			8	3				平成19年7月末 三嶋廣繁准教授辞職 による専任教員の変更(19) 担当 田中 香おり(准教授) 平成19年8月 教員審査済 判定 ㊤ 平成20年3月末 松島秀准教授辞職 による専任教員の変更(20) 担当 内山 良一(准教授) 「専任教員採用等設置計画変更書」 平成20年4月 提出予定(20)
専門必修科目										
小計(1科目)	—	2	0	0	8	3	0	0	0	
合計(52科目)			74							
合計(51科目)	—	9	72	0	8	3	0	0	0	

(2) 授業科目数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	44		51	7	45		52	
[]	[+1]	[]	[+1]					

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	基礎技術1(細胞培養技術)	1	1	一般	選択	履修希望者がいなかったため
2	細胞シグナル制御学概論	1	1	一般	選択	"
3	新薬論	1	1	一般	選択	"
4	ファーマコゲノミクス	1	1	一般	選択	"
5	薬物送達制御学	1	1	一般	選択	"
6	医薬経済学	1	1	一般	選択	"
7	分子病態医学概論	1	1	一般	選択	"
8	医用工学概論	1	1	一般	選択	"
9	研究と知的財産	1	1	一般	選択	"
10	生命科学与動物愛護	1	1	一般	選択	"
11	医用画像解析学概論	2	1	専門	選択	"
12	感染症治療学概論	2	1	専門	選択	"
13	生体環境医療学特論	2	1	専門	選択	"
14	ゲノム創薬医学特論	2	1	専門	選択	"
15	感染症制御学特論	2	1	専門	選択	"
16	代謝病態制御学特論	2	1	専門	選択	"
17	生体ラジカル制御学特論	2	1	専門	選択	"
18	生体毒性学特論	2	1	専門	選択	"
19	遺伝子有機化学概論	2	1	専門	選択	"
20	分子機能創薬学概論	2	1	専門	選択	"
21	細胞システム論	2	1	専門	選択	"
22	生体分子制御工学特論	2	1	専門	選択	"
23	分子医療創薬学特論	2	1	専門	選択	"
24	神経機能分子工学特論	2	1	専門	選択	"
25	医用分子システム工学特論	2	1	専門	選択	"
26	生体精密分離分析化学	2	1	専門	選択	"
27	ゲノム創薬化学特論	2	1	専門	選択	"
28	創薬資源化学特論	2	1	専門	選択	"
29	分子機能解析学特論	2	1	専門	選択	"

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本研究科は、様々な学修歴を持つ入学学生に対応するため、少ない収容定員に対して多くの授業科目を用意しており、履修希望者がいないことによる未開講科目が多く出ることとなった。なお、このことによる学生の履修への影響はない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	29	=	0.56
認可時の計画の授業科目数の計	51		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(岐阜大学キャンパス)

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	岐阜大学全体()内 は、借用地で外敷 借用地上の課外活動 施設の売却 (20)					
	校 舎 敷 地	360,858 (149,868) m ²	0 m ²	0 m ²	360,858 (149,868) m ²						
	運 動 場 用 地	107,742 (0) m ²	0 m ²	0 m ²	107,742 (0) m ²						
		107,742 (540) m ²	0 m ²	0 m ²	107,742 (540) m ²						
	小 計	468,600 (149,868) m ²	0 m ²	0 m ²	468,600 (149,868) m ²						
		468,600 (150,408) m ²	0 m ²	0 m ²	468,600 (150,408) m ²						
そ の 他	5,896,185 (2,627) m ²	0 m ²	0 m ²	5,896,185 (2,627) m ²							
合 計	6,364,785 (152,495) m ²	0 m ²	0 m ²	6,364,785 (152,495) m ²							
		6,364,785 (153,035) m ²	0 m ²	0 m ²	6,364,785 (153,035) m ²						
(2) 校 舎	専 用	365,589 m ² 365,514 m ² (365,589 m ²) (365,514 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	365,589 m ² 365,514 m ² (365,589 m ²) (365,514 m ²)	保育園の建設及び課 外活動施設の売却 (20)					
(3) 教 室 等	講 義 室	109室	演 習 室	107室	実験実習室	60室	情報処理学習施設	5室 (補助職員 1人)	語学学習施設	3室 (補助職員 1人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数		平成20年4月 専任教員1名の所属 変更のため(20) 平成21年4月 専任教員1名採用 のため(21)				
	連合創薬医療情報研究科				2 4 2 3 2 4		室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点				
	連合創薬医療情 報研究科	887,109 [293,760] (883,387 [299,149])	16,263 [5,658] (17,093 [6,187])	5,496 [4,806] (4,431 [3,977])	()	()	()	教育研究図書・学術 雑誌の整理(21)			
		887,309 [292,413] (883,387 [299,149])	16,237 [5,647] (17,093 [6,187])	5,025 [4,414] (4,431 [3,977])	()	()	()	教育研究図書・学術 雑誌の整理(20)			
		889,403 [298,641] (883,387 [299,149])	17,119 [6,207] (17,093 [6,187])	4,758 [4,217] (4,431 [3,977])	()	()	()	教育研究図書・学術 雑誌の充実(19)			
		883,387 [229,149] (883,387 [299,149])	17,093 [6,187] (17,093 [6,187])	4,431 [3,977] (4,431 [3,977])	()	()	()				
		883,387 [229,149] (883,387 [299,149])	17,093 [6,187] (17,093 [6,187])	4,431 [3,977] (4,431 [3,977])	3,984	5,902	2,237				
		883,387 [229,149] (883,387 [299,149])	17,093 [6,187] (17,093 [6,187])	4,431 [3,977] (4,431 [3,977])	(3,984)	(5,902)	(2,237)				
		887,109 [293,760] (883,387 [299,149])	16,263 [5,658] (17,093 [6,187])	5,496 [4,806] (4,431 [3,977])	()	()	()				
		887,309 [292,413] (883,387 [299,149])	16,237 [5,647] (17,093 [6,187])	5,025 [4,414] (4,431 [3,977])	()	()	()				
	計	887,109 [293,760] (883,387 [299,149])	16,263 [5,658] (17,093 [6,187])	5,496 [4,806] (4,431 [3,977])	()	()	()				
887,309 [292,413] (883,387 [299,149])	16,237 [5,647] (17,093 [6,187])	5,025 [4,414] (4,431 [3,977])	()	()	()						
889,403 [298,641] (883,387 [299,149])	17,119 [6,207] (17,093 [6,187])	4,758 [4,217] (4,431 [3,977])	()	()	()						
883,387 [229,149] (883,387 [299,149])	17,093 [6,187] (17,093 [6,187])	4,431 [3,977] (4,431 [3,977])	()	()	()						
883,387 [229,149] (883,387 [299,149])	17,093 [6,187] (17,093 [6,187])	4,431 [3,977] (4,431 [3,977])	3,984	5,902	2,237						
883,387 [229,149] (883,387 [299,149])	17,093 [6,187] (17,093 [6,187])	4,431 [3,977] (4,431 [3,977])	(3,984)	(5,902)	(2,237)						
(6) 図 書 館	面 積	8,417 m ² 6,395 m ²	開 覧 座 席 数	661席 503席	収 納 可 能 冊 数	71万冊 53万冊	医学図書館新設 のため(19)				
(7) 体 育 館	面 積	4,615 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	弓道場、公認プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレー										
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
	教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円				
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要										
	国費による。										

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
- 2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
- 3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
- 4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
- なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。
- 5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、別紙様式2により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(岐阜薬科大学キャンパス)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	岐阜薬科大学全体() 内は、借用地で外数			
	校舎敷地	20,515(0)㎡	0㎡	0㎡	20,515(0)㎡				
	運動場用地	18,490㎡	0㎡	0㎡	18,490㎡				
	小 計	39,005(0)㎡	0㎡	0㎡	39,005(0)㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	39,005(0)㎡	0㎡	0㎡	39,005(0)㎡				
(2) 校 舎	専 用	18,033㎡	0㎡	0㎡	18,033㎡				
	(18,033㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(18,033㎡)					
(3) 教 室 等	講義室	10室	4室	8室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室 数							
	連合創薬医療情報研究科	9 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	教育研究図書・学術雑誌の整理(21) 教育研究図書・学術雑誌の整理(20) 教育研究図書・学術雑誌の充実(10)	
	連合創薬医療情報研究科	69,498 [31,691]	315 [69]	31 [31]	374	()	()		
		(66,814 [30,533])	(375 [114])	(18 [18])	(323)	()	()		
		68,671 [31,469]	350 [99]	25 [25]	377	()	()		
		(66,814 [30,533])	(375 [114])	(18 [18])	(323)	()	()		
		67,854 [31,028]	360 [99]	20 [20]	344	()	()		
	計	(66,814 [30,533])	(375 [114])	(18 [18])	(323)	()	()		
		66,814 [30,533]	375 [114]	18 [18]	323	21	0		
		(66,814 [30,533])	(375 [114])	(18 [18])	(323)	(21)	(0)		
		69,498 [31,691]	315 [69]	31 [31]	374	()	()		
(66,814 [30,533])		(375 [114])	(18 [18])	(323)	()	()			
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数					
	890㎡	90席		7.3万冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	1,978㎡	弓道場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、テニスコート(5面)を整備している。							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による。
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
- 2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
- 3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
- 4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
- なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
- 5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「別紙様式2」により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		岐 阜 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
岐阜大学教育学部	年	人	年次 人	人		倍			
学校教育教員養成課程	4	200		800	学士(教育学)	1.09	昭和24 平成10	岐阜県 岐阜市柳戸	
特別支援学校教員養成課程	4	15		60	学士(教育学)	1.11	平成10	1番1	
生涯教育課程	4	35		140	学士(教育学)	1.04	平成10		
計		250		1,000					
岐阜大学地域科学部									
地域政策学科	4	100	10	420	学士(地域科学)	1.07	平成 8 平成18	岐阜県 岐阜市柳戸	
地域文化学科							平成18	1番1	
計		100	10	420					
岐阜大学医学部									
医学科	6	100		510	学士(医学)	1.01	昭和39 昭和39	岐阜県 岐阜市柳戸	
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.01	平成12	1番1	
計		180	10	850					
岐阜大学工学部									
(昼間コース)							昭和27	岐阜県 岐阜市柳戸	
社会基盤工学科	4	60		240	学士(工学)	1.08	平成14	1番1	
機械システム工学科	4	65		245	学士(工学)	1.09	平成14		
応用化学科	4	55		220	学士(工学)	1.11	平成14		
電気電子工学科	4	60		240	学士(工学)	1.12	平成14		
生命工学科	4	60		240	学士(工学)	1.05	平成14		
応用情報学科	4	70		280	学士(工学)	1.11	平成14		
機能材料工学科	4	55		220	学士(工学)	1.10	平成14		
人間情報システム工学科	4	50		200	学士(工学)	1.14	平成14		
数理デザイン工学科	4	35		155	学士(工学)	1.10	平成14		
小計		510		2,040					
(夜間主コース)							平成 3		平成13年度から学生募集停止
社会基盤工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成14		
機械システム工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成14		
応用化学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成14		
電気電子工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成14		
生命工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成14		
応用情報学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成14		
機能材料工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成14		
人間情報システム工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成14		
小計		—		—					
各学科共通			30	60	学士(工学)	1.96	平成14		
小計			30	60					
計		510	30	2,100					

岐阜大学応用生物科学部							平成16	岐阜県	
食品生命科学課程	4	80	5	330	学士(応用生物科学)	1.03	平成16	岐阜市柳戸	
生産環境科学課程	4	80	5	330	学士(応用生物科学)	1.06	平成16	1番1	
獣医学課程	6	25	5	170	学士(獣医学)	1.18	平成16		
計		185	15	830					
合計		1,225	65	5,200					
大学の名称	岐阜薬科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
岐阜薬科大学薬学部								岐阜県	
薬学科	6	80		480	学士(薬学)	1.16	平成18	岐阜市三田洞東	
薬科学科	4	40		160	学士(薬科学)	1.14	平成18	五丁目6番1号	
計		120		640					
合計		120		640					

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻（博士課程）>

（1）担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	北出 幸夫 (52)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス「集中」						
				生体分子制御工学特論						
				ゲノム創薬化学特論						
				創薬科学特別研究						
専	教授	鈴木 正昭 (59)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス「集中」						
				分子イメージング工学特論						
				創薬科学特別研究						
専	教授	木内 一壽 (56)	平成19年4月	学外実習						
				神経機能分子工学特論						
				創薬科学特別研究						
専	教授	吉田 敏 (56)	平成19年4月	医用工学概論						
				医用分子システム工学特論						
				創薬科学特別研究						
専	教授	宇野 文二 (51)	平成19年4月	分子機能解析学特論						
				創薬科学特別研究						
					専	教授	赤尾 幸博 (56)	平成21年4月	分子腫瘍学特論 創薬科学特別研究	平成21年1月 教員審査済 判定可(合)(21)
専	准教授	上野 義仁 (43)	平成19年4月	遺伝子有機化学概論						
				創薬科学特別研究						
専	准教授	古田 享史 (50)	平成19年4月	分子変換化学概論						
				創薬科学特別研究						
専	准教授	田中 稔幸 (51)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス「集中」	専	教授	田中 稔幸 (51)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス「集中」	平成19年4月1日 付けで准教授から教授へ昇格(19) 平成19年8月 変更書提出予定(19) 平成19年8月 教員審査済 判定可(合)(19)
				創薬資源化学特論					創薬資源化学特論	
				創薬科学特別研究					創薬科学特別研究	
専	准教授	森田 洋子 (49)	平成19年4月	細胞情報伝達学概論						
				創薬科学特別研究						

専	准教授	上田 浩 (43)	平成19年4月	細胞システム論 創薬科学特別研究							
専	准教授	江坂 幸宏 (42)	平成19年4月	生体精密分離分析化学 創薬科学特別研究							
兼任	教授	紀ノ定 保臣 (53)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス「集中」 臨床データマイニング概論 臨床データマイニング演習 プロセスマネジメント概論 高次生命情報学特論							
兼任	教授	山本 真由美 (45)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス「集中」 プロセスマネジメント概論 生活習慣病と予防医学 生態環境医療学特論							
兼任	教授	桑田 一夫 (50)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス「集中」 人獣感染症学 理論機能分子設計学特論							
兼任	教授	丹羽 雅之 (52)	平成19年4月	生体ラジカル制御学特論 生体毒性学特論							
兼任	教授	深尾 敏幸 (46)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス「集中」 分子病態医学概論 ゲノム創薬医療学特論							
兼任	教授	稲垣 直樹 (51)	平成19年4月	生体応答調節学特論							
兼任	教授	渡邊 邦友 (59)	平成19年4月	感染症制御学特論							
兼任	教授	下澤 伸行 (50)	平成19年4月	代謝病態制御学特論							
兼任	准教授	松島 秀 (46)	平成19年4月	医療情報解析学概論 医用画像解析学概論	兼任	准教授	内山 良一	平成20年10月	医療情報解析学概論 医用画像解析学概論	平成20年8月 教員審査会 判定 可(合)(21) 平成20年3月末松島 秀准教授辞職による 担当者変更(20) 平成20年4月 変更書提出予定 (20)	
兼任	准教授	田中 宏幸 (41)	平成19年4月	免疫薬理学							
兼任	准教授	三嶋 廣繁 (46)	平成19年4月	生命科学と動物愛護 感染症治療学概論	兼任	准教授	二上 英樹	平成19年8月	生命科学と動物愛護	平成19年7月末三嶋 廣繁准教授辞職による 担当者変更、後任 補充まで兼任(19) 平成19年8月 変更書提出予定 (19)	
					兼任	准教授	三嶋 廣繁 (46)	平成19年8月	感染症治療学概論		
					兼任	准教授	田中 香おり (44)	平成19年8月	感染症治療学概論	平成19年8月 教員審査会 判定 可(19)	

兼任	教授	武内 康雄 (53)	平成19年4月	社会・生命倫理学概論 「集中」						
兼任	教授	塚田 敬義 (47)	平成19年4月	社会・生命倫理学概論 「集中」						
兼任	教授	岡野 幸雄 (56)	平成19年4月	基礎技術1(細胞培養技術)						
				細胞シグナル制御学概論						
				分子病態医学概論						
兼任	教授	高見 剛 (58)	平成19年4月	基礎技術2(免疫組織化学)						
兼任	教授	原 英彰 (49)	平成19年4月	プロセスマネジメント概論						
兼任	教授	佐治木 弘尚 (48)	平成19年4月	新薬論						
兼任	教授	江崎 孝行 (56)	平成19年4月	微生物ゲノムインフォマティクス						
兼任	教授	武田 純 (54)	平成19年4月	ファーマコゲノミクス						
兼任	教授	竹内 洋文 (53)	平成19年4月	薬物送達制御学						
兼任	教授	武藤 吉徳 (51)	平成19年4月	分子病態医学概論						
兼任	教授	木曾 眞 (59)	平成19年4月	応用糖鎖工学						
兼任	教授	西川 一八 (59)	平成19年4月	蛋白質機能開発工学						
兼任	教授	土屋 照雄 (58)	平成19年4月	臨床試験概論						
兼任	教授	中澤 貴生 (45)	平成19年4月	研究と知的財産	兼任	教授	野田 誠一 (51)	平成19年4月	研究と知的財産	平成19年2月 中澤貴生教授辞職による担当者変更(19)
兼任	准教授	高塚 直能 (39)	平成19年4月	医薬経済学						
兼任	講師	西村 伸太郎 (48)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」						
				創薬画像診断学特論						

兼任	講師	久保 泰 (52)	平成19年4月	分子医療創薬学特論						
兼任	講師	木村 忠史 (41)	平成19年4月	分子機能創薬学概論						
兼任	講師	恩田 博宣 (70)	平成19年4月	研究と知的財産						
兼任	講師	辻 巻 健太 (41)	平成19年4月	研究と知的財産						
兼任	講師	今 井 豊 (58)	平成19年4月	研究と知的財産						
兼任	講師	長 井 省 三 (63)	平成19年 4 月	研究と知的財産						
兼任	講師	高 柳 昌 生 (60)	平成19年 4 月	研究と知的財産						

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
11	0	11	4	12	0	12	0	助手の減は、本研究科では授業を担当しないが、学部等の授業を担当する助教に昇任したため。
(11)	(0)	(11)	(4)	[+1]	[0]	[+1]	[Δ4]	

(3) 専任教員交代の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) 1 「(1) 担当教員表」は、認可申請書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。

なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。

(記入例参照)

3 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

4 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。

5 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。

6 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に()書きで記入してください。(記入例参照)

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」欄に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

7 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に差し引き数を記入してください。

(記入例: 1名減の場合: △1)

8 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

9 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

< 連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻（博士課程） >

（1）担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	紀ノ定 保田 (53)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」						
				臨床データマイニング概論						
				臨床データマイニング演習						
				プロセスマネジメント概論						
				高次生命情報学特論						
				医療情報学特別研究						
専	教授	山本 真由美 (45)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」						
				プロセスマネジメント概論						
				生活習慣病と予防医学						
				生態環境医療学特論						
				医療情報学特別研究						
専	教授	桑 田 一 夫 (50)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」						
				人獣感染症学						
				理論機能分子設計学特論						
				医療情報学特別研究						
専	教授	丹 羽 雅 之 (52)	平成19年4月	医薬統計学概論						
				生体ラジカル制御学特論						
				生体毒性学特論						
				医療情報学特別研究						
専	教授	深 尾 敏 幸 (46)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」						
				分子病態医学概論						
				ゲノム創薬医療学特論						
				医療情報学特別研究						
専	教授	稲 垣 直 樹 (51)	平成19年4月	生体応答調節学特論						
				医療情報学特別研究						

専	教授	渡邊邦友 (59)	平成19年4月	感染症制御学特論							
				医療情報学特別研究							
専	教授	下澤伸行 (50)	平成19年4月	代謝病態制御学特論							
				医療情報学特別研究							
専	准教授	松島秀 (46)	平成19年4月	医療情報解析学概論	専	准教授	内山良一	平成20年10月	医療情報解析学概論	平成20年8月 教員審査済 判定可(21) 平成20年3月末松島 秀准教授辞職による 担当者変更(20) 平成20年4月 変更書提出予定 (20)	
				医用画像解析学概論					医用画像解析学概論		
				医療情報学特別研究					医療情報学特別研究		
専	准教授	田中宏幸 (41)	平成19年4月	免疫薬理学							
				医療情報学特別研究							
専	准教授	三鴨廣繁 (46)	平成19年4月	生命科学と動物愛護	兼任	准教授	二上英樹	平成19年8月	生命科学と動物愛護	平成19年7月末三鴨 廣繁准教授辞職によ る担当者変更、後任 補充まで兼任(19) 平成19年8月 変更書提出予定 (19) 平成19年8月 教員審査済 判定可(19)	
				感染症治療学概論	兼任	准教授	三鴨廣繁 (46)	平成19年8月	感染症治療学概論		
				医療情報学特別研究	専	准教授	田中香お里 (44)	平成19年8月	感染症治療学概論		
					専	准教授	後任未定 田中香お里 (44)	平成19年8月	医療情報特別研究		
兼任	教授	北出幸夫 (52)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」							
				生体分子制御工学特論							
				ゲノム創薬化学特論							
兼任	教授	鈴木正昭 (59)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」							
				分子イメージング工学特 論							
兼任	教授	木内一壽 (56)	平成19年4月	学外実習							
				神経機能分子工学特論							
兼任	教授	吉田敏 (56)	平成19年4月	医用工学概論							
				医用分子システム工学特 論							
兼任	教授	宇野文二 (51)	平成19年4月	分子機能解析学特論							
					兼任	教授	赤尾幸博 (56)	平成21年4月	分子腫瘍学特論	平成21年1月 教員審査済 判定可(21)	
兼任	准教授	上野義仁 (43)	平成19年4月	遺伝子有機化学概論							
兼任	准教授	古田享史 (50)	平成19年4月	分子変換化学概論							

兼任	准教授	田中稔幸 (51)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」	兼任	教授	田中稔幸 (51)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」	平成19年4月1日 付けで准教授から教 授へ昇格(19)
				創薬資源化学特論					創薬資源化学特論	平成19年8月 変更書提出予定 (19) 平成19年8月 教員審査済 判定 可(19)
兼任	准教授	森田洋子 (49)	平成19年4月	細胞情報伝達学概論						
兼任	准教授	上田浩 (43)	平成19年4月	細胞システム論						
兼任	准教授	江坂幸宏 (42)	平成19年4月	生体精密分離分析化学						
兼任	教授	武内康雄 (53)	平成19年4月	社会・生命倫理学概論 「集中」						
兼任	教授	塚田敬義 (47)	平成19年4月	社会・生命倫理学概論 「集中」						
兼任	教授	岡野幸雄 (56)	平成19年4月	基礎技術1(細胞培養技 術)						
				細胞シグナル制御学概論						
				分子病態医学概論						
兼任	教授	高見剛 (58)	平成19年4月	基礎技術2(免疫組織化学)						
兼任	教授	原英彰 (49)	平成19年4月	プロセスマネジメント概 論						
兼任	教授	佐治木弘尚 (48)	平成19年4月	新薬論						
兼任	教授	江崎孝行 (56)	平成19年4月	微生物ゲノムインフォマ ティクス						
兼任	教授	武田純 (54)	平成19年4月	ファーマコゲノミクス						
兼任	教授	竹内洋文 (53)	平成19年4月	薬物送達制御学						
兼任	教授	永田知里 (47)	平成19年4月	医薬統計学概論						
兼任	教授	武藤吉徳 (51)	平成19年4月	分子病態医学概論						
兼任	教授	土屋照雄 (58)	平成19年4月	臨床試験概論						

兼任	教授	中澤 貴生 (45)	平成19年4月	研究と知的財産	兼任	教授	野田 誠一 (51)	平成19年4月	研究と知的財産	平成19年2月 中澤貴生教授辞職に よる担当者変更(19)
兼任	准教授	高塚 直能 (39)	平成19年4月	医薬経済学						
兼任	講師	西村 伸太郎 (48)	平成19年4月	創薬医療情報トピックス 「集中」 創薬画像診断学特論						
兼任	講師	久保 泰 (52)	平成19年4月	分子医療創薬学特論						
兼任	講師	木村 忠史 (41)	平成19年4月	分子機能創薬学概論						
兼任	講師	恩田 博宣 (70)	平成19年4月	研究と知的財産						
兼任	講師	辻 巻 健太 (41)	平成19年4月	研究と知的財産						
兼任	講師	今 井 豊 (58)	平成19年4月	研究と知的財産						
兼任	講師	長 井 省三 (63)	平成19年4月	研究と知的財産						
兼任	講師	高 柳 昌生 (60)	平成19年4月	研究と知的財産						

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
11	0	11	2	11	0	11	0	助手の減は、本研究科では授業を担当しないが、学部等の授業を担当する助教に昇任したため。
(11)	(0)	(11)	(2)	[0]	[0]	[0]	[Δ2]	

(3) 専任教員交代の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	三嶋 廣繁	三嶋廣繁准教授は、愛知医科大学の教授に就任するために本学を辞任する。
2	准教授	松島 秀	松島秀准教授は、愛知県がんセンターの放射線技師に就任するために本学を辞任する。
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

松島秀准教授の辞任（3月末日）は、平成20年2月に突然決まったため、担当授業である「医療情報解析学概論」及び「医用画像解析学概論」については、後任者が決定するまでは松島秀氏が非常勤講師として担当することとした。しかし、現在履修希望者がいない。なお、後任者については平成20年4月に「専任教員採用等設置計画変更書（AC）」を提出予定であるが、研究指導についても、現在指導する学生がいない。また、学生への周知は学生全員に状況を説明する。

(注) 1 「(1) 担当教員表」は、認可申請書の様式第3号（その1）に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。

なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。

(記入例参照)

3 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

4 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。

5 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。

6 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に（ ）書きで記入してください。（記入例参照）

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」欄に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

7 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に差し引き数を記入してください。

(記入例：1名減の場合：△1)

8 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

9 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (18年11月30日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (19年4月1日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (20年4月1日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (21年5月1日)			

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

< 連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻（博士課程） >

（１）設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教務厚生委員会を設置している。（別紙のとおり）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

毎月第2火曜日に開催している。各専攻から2名（合計4名）の委員で構成され、そのうちの1名が委員長として取りまとめている。

c 委員会の審議事項等

別紙教務厚生委員会内規第4のとおり

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

平成20年1月20日FDを実施。テーマは「双方向性のある講義」。

平成21年度末から、授業評価アンケートを実施する予定。

b 実施方法

平成21年度も昨年度に引き続きFDを実施する。

平成21年度末に修了する学生に対して授業評価アンケートを実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成20年1月20日に開催したFDにおいては、18人の教員が参加し、86%の出席率であった。

平成21年度末に授業評価アンケートを実施予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成20年度に実施したFDから、受動的知識の教授のみではなく、学生の自発的探究心を引き出すという、双方向性のある教育方法について確認し、教員の意識改革へと繋がった。

平成21年度末に授業評価アンケートを実施予定である。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成21年度、外部評価委員会を設置し、外部評価を受ける予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・外部評価報告書を平成22年3月に作成し、公表する予定。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成19年度に評価機関（独立行政法人 大学評価・学位授与機構）の認証評価を受けた。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ☐ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年3月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ☐ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.1.gifu-u.ac.jp/~rensou/03outline/index.html>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ☐ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年3月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ☐ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.1.gifu-u.ac.jp/~rensou/03outline/index.html>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。

7 その他全般的事項

＜連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻（博士課程）＞

（１）設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教務厚生委員会を設置している。（別紙のとおり）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

毎月第２火曜日に開催している。各専攻から２名（合計４名）の委員で構成され、そのうちの１名が委員長として取りまとめている。

c 委員会の審議事項等

別紙教務厚生委員会内規第４のとおり

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

平成２０年１月２０日FDを実施。テーマは「双方向性のある講義」。

平成２１年度末から、授業評価アンケートを実施する予定。

b 実施方法

平成２１年度も昨年度に引き続きFDを実施する。

平成２１年度末に修了する学生に対して授業評価アンケートを実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成２０年１月２０日に開催したFDにおいては、１８人の教員が参加し、８６％の出席率であった。

平成２１年度末に授業評価アンケートを実施予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成２０年度に実施したFDから、受動的知識の教授のみではなく、学生の自発的探究心を引き出すという、双方向性のある教育方法について確認し、教員の意識改革へと繋がった。

平成２１年度末に授業評価アンケートを実施予定である。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成21年度、外部評価委員会を設置し、外部評価を受ける予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・外部評価報告書を平成22年3月に作成し、公表する予定。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成19年度に評価機関（独立行政法人 大学評価・学位授与機構）の認証評価を受けた。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年3月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.1.gifu-u.ac.jp/~rensou/03outline/index.html>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年3月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.1.gifu-u.ac.jp/~rensou/03outline/index.html>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科教務厚生委員会内規

平成19年4月1日制定

(趣旨)

- 第1 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科(以下「本研究科」という。)における教育及び学生生活に関する事項を審議するため、本研究科に教務厚生委員会(以下「委員会」という。)を置き、委員会に関し必要な事項は、この内規の定めるところによる。

(組織)

- 第2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
一 各専攻から選出された主指導教員の資格を有する教育職員 各2人
二 その他委員会が必要と認めた者

(任期)

- 第3 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

- 第4 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
一 教育関係に係る中期目標及び中期計画の評価に関すること。
二 学生等の入学、休学、復学、転科、転学、退学、除籍及び修了に関すること。
三 教育課程の編成に関すること。
四 授業及び定期試験に関すること。
五 学生等の表彰及び懲戒に関すること。
六 学生等の留学に関すること。
七 その他教育及び学生生活に関すること。

(委員長等)

- 第5 委員会に委員長を置く。
2 委員長は、研究科長が委員の中から指名する。
3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
4 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

- 第6 委員会は、半数以上の委員の出席をもって成立する。ただし、同一専攻に所属する者のみの場合は不成立とする。
2 議事は、出席委員の半数以上の同意をもって決する。
3 委員が会議に出席することができないときには、代理の者を出席させることができる。

(委員以外の者の出席)

- 第7 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

- 第8 委員会の庶務は、工学部事務部大学院連合創薬係において処理する。

(雑則)

- 第9 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この内規は、平成19年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成19年5月15日から実施する。